

七月読みとりおけいこ⑥中学年

名前 ()

今年の土用の丑うしの日は七月二十八日です。ということ
で、今日は土用の丑うしの話をしてみましょう。

今のようにウナギをかばやきにするようになったのは
元禄時代げんろくじだい（一六八八～一七〇四）のことだそうです。そ
して、安永あんえい・天明年間てんめいねんかん（一七七二～一七八九）には、江
戸の町民の間で土用の丑うしの日にウナギを食べる習慣しゅうかんが
はじまったのだそうです。

もつとも、奈良時代ならじだいには大伴家持おほとものやかもちという人が「夏やせ
にはウナギを食べるといい」、と歌によんでいます。

江戸時代にベストセラーになった『養生訓ようじょうくん』という本
の作者、貝原益軒かいばらえきけんはこの歌を引用いんようしたうえで、ウナギが
夏におすすめの食材であることをつたえています。

当時の江戸では健康ブームけんこうブームがわきおこり「腹八分目を
心がける」「旬しゅんのものを食べる」ということがいきわた
っていたようです。

「本日土用丑ノ日」というはり紙を平賀源内ひらがげんないがウナギ
やさんの店先にはったという説せつもありますし、江戸・神
田のウナギ屋・春木屋善兵衛はるきやぜんべえが丑うしの日に食べるようにす
すめたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によい食べ物だと思われ
ていたことはたしかです。

しかし、ちかごろニホンウナギはピンチなのです。
少し前まで河口かこうにうじゃうじやいたシラスウナギ（ウナ
ギの子）がほとんどいなくなったのです。とりすぎや温暖おんだん
化かのえいきょうといわれています。このままでは絶滅ぜつめつ
してしまうのでは？と心配する人もいます。みなさんもそ
のあたり、調べてみては？

音読サイン↓

① 何の話ですか？ ()

② 土用の丑うしの日には何を食たべるといいと考えら
れたのですか？ ()

③ 土用の丑うしにウナギ、といわれはじめたのはい
つですか？ ()

④ 奈良時代にウナギをすすめた人はだれです
か？ ()

⑤ 貝原益軒のベストセラーは何という本です
か？ ()

⑥ 江戸時代の健康ブームでいきわたったことを
二つあげましょう。 ()

⑦ 土用の丑うしのはり紙をしたらしいといわれる人
はだれですか？ ()

⑧ あっている文に○をつけましょう。
() ウナギは大きくなるとシラスウナギになる。
() ウナギのかばやきは奈良時代からある。
() むかしからウナギは体に良いとされた。
⑨ 上の文の感想を四行にまとめましょう。

できばえは？

